

化学療法プロトコール

申請日： 令和 5年5月10日 申請医師： 箱崎 将規
診療科： 外科 癌腫： 食道がん
実施区分： 入外共通

管理番号	C010010	レジメン名： FP療法
1コース期間	3週	総コース数

備考：
・聴覚毒性(CDDP300mg/m²以上)、末梢神経障害、眼障害、嗅覚障害に注意。・間質性肺炎に注意。・CDDP投与前後の1~2Lの輸液投与と尿量(2~3L/日)の確保を行う。CDDP:腎障害時の投与変更例Ccr 60~46(25%減量) 45~31(50%減量) 30≧(使用中)

番号	薬剤名	基準投与量	投与量上限	規格	投与方法	投与スケジュール(day1等)
1	シスプラチン	80 mg/m ²		自動	点滴	day1
2	5-FU	800 mg/m ²		自動	点滴	day1~day5

備考：
抗がん剤はメインから、それ以外は側管から投与

実施内容

<p>day1 処方 〈内服〉 臨時 〈4mg〉 テキサロニ錠4mg 2錠 朝1錠、昼1錠 ★化学療法翌日より服用 朝 昼 食後30分 3日</p> <p>注射 〈1〉 点滴 セシヨク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ★プライミング・ウォッシュアウト用 ★バッグスパイク使用</p> <p>〈2〉 点滴 セシヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★側管① ★2時間で点滴</p> <p>〈3〉 点滴 パロセトロン点滴静注バッグ0.75mg/50mL「タイバ」 1袋 アロリス点滴静注235mg/10mL 1瓶 【H】 【6.6mg】 テキサト注射液 6.6mg/2mL 1瓶 【H】 テキサト注射液 3.3mg/1mL 1A ★側管② ★30分で点滴</p> <p>〈4〉 点滴 硫酸Mg補正液2.46g/20mL 0.4管 セシヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★側管③ ★2時間で点滴</p> <p>〈5〉 点滴 シスプラチン 80 mg/m² セシヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★全量500mLに調製：シスプラチン使用量分の生食を除去 ★側管③終了後投与開始 ★メインルート① ★2時間で点滴</p> <p>〈6〉 点滴 フルオロウラシル 800 mg/m² 生理食塩液バッグ「フソ」(1L/袋) 1袋 ★メインルート② ★24時間で点滴</p> <p>〈7〉 点滴 アロリス注20mg「NIG」(ラジックス) 1A セシヨク(生食) <50mL>◆ 1瓶 ★メインルート①終了後投与開始 ★側管④ ★15分で点滴</p> <p>〈8〉 点滴 長期) フリンパラン注射液10mg(2mL) 1A セシヨク(生食) 《500mL》 1袋</p>	<p>★側管⑤ ★2時間で点滴 〈9〉 点滴 セシヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★側管⑥ ★2時間で点滴</p> <p>day2 注射 〈1〉 点滴 フルオロウラシル 800 mg/m² 生理食塩液バッグ「フソ」(1L/袋) 1袋 ★24時間で点滴</p> <p>day3 注射 〈1〉 点滴 フルオロウラシル 800 mg/m² 生理食塩液バッグ「フソ」(1L/袋) 1袋 ★24時間で点滴</p> <p>day4 注射 〈1〉 点滴 フルオロウラシル 800 mg/m² 生理食塩液バッグ「フソ」(1L/袋) 1袋 ★24時間で点滴</p> <p>day5 注射 〈1〉 点滴 フルオロウラシル 800 mg/m² 生理食塩液バッグ「フソ」(1L/袋) 1袋 ★24時間で点滴 〈2〉 点滴 セシヨク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ★プライミング・ウォッシュアウト用 ★バッグスパイク使用</p>
---	--